

～若手職員が活躍する事業現場の紹介～

H30-13 渡島総合振興局 函館建設管理部 八雲出張所

○事業名

道道大沼公園鹿部線 防災安全交付金(地方道)事業

○事業概要

施工箇所：北海道茅部郡森町

事業内容：道路工L=2300m、幅員W=8.5(車道6.0)m

事業着手：平成26年度～

総事業費：約10億円(予定)



渡島総合振興局
函館建設管理部
八雲出張所

○事業目的

道道大沼公園鹿部線は、国道5号線から近郊の大沼国定公園、駒ヶ岳等の観光資源を結ぶ主要道道で、地域医療、物流、防災、日常生活を支える重要な路線となっています。また、駒ヶ岳噴火時の避難道路としても位置づけられており、増加する観光客等の避難誘導に際しても重要な路線となっています。しかし、路線の一部の道路に幅員が狭い箇所や急勾配区間があることから、それらの解消を図るため道路改良工事を行っています。



職場での様子

現地での様子



職場での様子

道路担当 田中 光(22)から一言

仕事を始めた頃は、わからないことも多く、上司や先輩方に教えてもらいながら仕事を覚えていくことで精一杯でしたが、年数を重ねるごとに少しずつ環境にも慣れ、道路をはじめ橋梁や法面など大きな事業にも携わることができ、様々な困難をくぐりぬけながら、事業を進めることができています。

また、現在は同年代の職員も多く入ってきており、仕事面ではもちろん、プライベートにおいても充実した毎日を送ることができています。

